

リウマチだより

VOL.3 案内版 2023年4月1日発行



リウマチ科みやもと 院長 宮本茂輝

〒526-0034 滋賀県長浜市弥高町 269 番

TEL : (0749)53-3887 / FAX : (0749)53-3877

URL : <https://rheumatoid-arthritis-miyamoto.jp>



↑
ホームページは
こちらから

リウマチ豆知識

『関節エコー』がリウマチ診療に必要不可欠な理由とは？

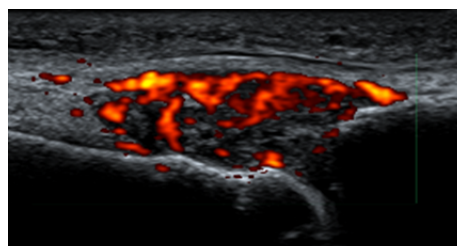
エコーは、循環器科（心）・消化器科（肝・胆・膵）・耳鼻咽喉科（甲状腺）・婦人科（子宮・卵巣）など、あらゆる診療科で使用される侵襲性のない検査です。

「リウマチの検査って、血液検査とレントゲン検査ぐらいじゃないの？」と思われる方が多いかもしれませんが、リウマチ診療においても「関節エコー」は最早欠かすことのできない重要な検査です。今回は、「関節エコー」の利点について解説致します。

【その1】滑膜炎を描出できる。

関節リウマチ（RA）は、関節滑膜に炎症（＝滑膜炎）をきたす疾患です。つまり、その診断のためには、滑膜炎の存在を証明する必要があります。（ただし、滑膜炎をきたす疾患はRAに限りませんので、滑膜炎があったからといって直ちにRAと診断できるわけではありません）

また、すでにRAの診断がついている患者さんが関節の痛みを訴えた場合、治療強化をするかどうかは、やはり同部に滑膜炎が存在するかどうか重要です。それは、滑膜炎が存在しないにも関わらず治療強化した場合、効果がないばかりでなく、薬剤の副作用のみが出てしまう恐れがあるからです。



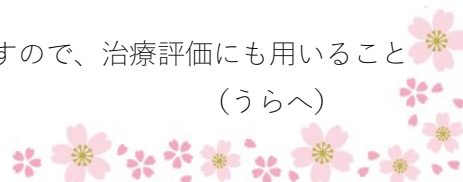
「滑膜炎があるかどうかは、MMP-3で判断できるんじゃないの？」と思われる方がおられるかもしれませんが、MMP-3は手指・手・足趾などの小関節に滑膜炎があっても上昇することはほとんどありません。また、腎障害やステロイドが投与されている状況では、MMP-3は偽陽性となるため、結果の解釈には注意が必要です。また、レントゲンでは滑膜はもちろん映りませんので、関節局所における滑膜炎の存在を判断する上で、「関節エコー」は適したモダリティなのです。

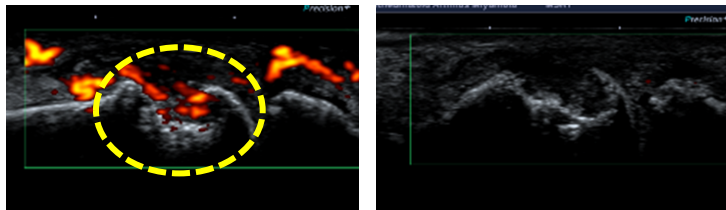
【その2】治療反応性を評価できる

「リウマチって、CRP・赤沈・MMP-3で評価すればいいんじゃないの？」と思われる方が多いかもしれませんが、これにつきましては、第2版でも述べました通り、炎症が手指・手・足趾などの小関節に局限している場合には、CRP・赤沈・MMP-3はほとんど上昇しませんので、これらは治療評価のマーカーとして使用できません。

一方、「関節エコー」では、関節局所の滑膜炎をクリアに描出可能ですので、治療評価にも用いることができます。

（うらへ）





(治療前)

(治療後)

左の写真は、第5趾 MTP 関節(足の小指の付け根;RAの好発部位です)のエコー写真です。

治療前の写真(左図)では、肥厚した関節滑膜に一致してパワードプラにて血流シグナルを認めます。骨びらん部(黄色の点線内)にも

血流シグナルを認めており、これを放置すると関節破壊が進行し、足趾の変形につながる可能性が非常に高いのですが、CRP0.03mg/dlと正常です。

「CRP・赤沈・MMP-3だけでRAを評価してはいけない」と、私が当院ホームページやブログで力説しているのはこのためなのです。

治療後の写真(右図)では、滑膜肥厚は残存するものの、血流シグナルは消失しています。このように、「関節エコー」は治療反応性を可視化できるというメリットがあります。

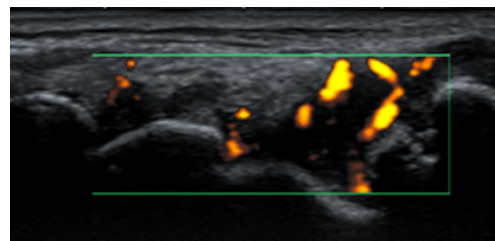
【その3】患者教育に用いることができる。

RA診療において、関節の痛みが強いと「リウマチの状態は悪い」、関節の痛みが軽いと「リウマチの状態は良い」と一般的に思われがちですが、必ずしもそうではありません。

RA患者さんが関節の痛みを訴えられても、それがRAに因るものではなく、変形性関節症や更年期障害など他の病態に因るものということは日常診療でしばしば経験します。

また逆に、関節の痛みが軽度であっても、RAによる滑膜炎が高度であるということもしばしば経験します。

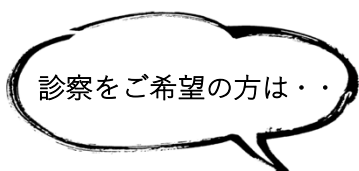
右の写真は、手関節のエコー写真です。痛みはほとんどないと患者さんは言われますが、中等度以上の滑膜炎を認めます。ちなみに、CRP0.03mg/dlと正常です。



この状態を、「痛みがない」「CRP上昇がない」という理由で放置してしまうと、関節破壊が進行する可能性が高いため治療強化が必要です。

「痛みもないし炎症反応も正常なのに、何で治療強化が必要なの?」という患者さんからの疑問に対しても、「関節エコー」があれば視覚的に説得力を持って答えることができます。

RA診療に限らず治療を継続するためには、患者さんと医師が同じ方向を向いているということが必要条件であると同時に、双方の信頼関係の構築につながります。リウマチ医にとって、「関節エコー」はその「蝶番」としての役割を果たしてくれる重要なパートナーなのです。



診察をご希望の方は...



★まずは当院までお電話ください★

(0749) 53-3887

※ 初診の方もどうぞお問い合わせください。

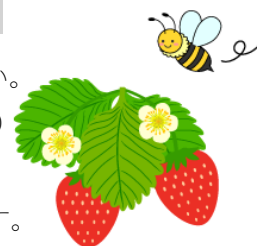
※ 予約優先制です。(予約をお取りする日時を調整して、待ち時間削減に努めております。)

診療時間 月 火 水 木 金 土 日・祝

9:00~16:00



◆：毎週土曜日 9:00-13:30 となります。



【診療体制の変更について】4月より、第4月曜日は休診日となります。